

大学生と高校生と地域 持続可能な未来に向けて課題解決 第3回

SDGs × 甲南大学

Sustainable Development Goals

Konan University

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【関西湾岸ネットワーク】甲南大学では「海でつながる」をキーワードに、神戸市、堺市、和歌山市、徳島市と「関西湾岸ネットワーク」を2016年に構築。様々な地域連携活動に取り組んできました。昨年からSDGsチャレンジは岡山市を加えて、瀬戸内へと連携を広げています。(*)

「関西湾岸SDGsチャレンジ」 オンラインで新しい学びにも挑戦！

「コロナ」を機にIT活用加速 最適なプログラムを提供する



佐藤 泰弘 副学長

甲南大学と地域連携協定などを結ぶ、関西湾岸ネットワーク(*)の5市(神戸市、堺市、和歌山市、徳島市、岡山市)の地域課題を、国連が定めたSDGsの17の目標を切り口に考える「関西湾岸SDGsチャレンジ」。大学生と地元高校生が7~9人で1チームを組み、大学教員や朝日新聞記者のサポートを得て、主体的に学ぶプロジェクトだ。2018年に始まり、様々な世代や価値観を持つ人々と出会い、社会の姿を見つめる協働作業を通して、学生たちの成長において大きな成果を上げてきた。

佐藤泰弘副学長は「異なる5つの自治体が集まり、それぞれの地域の課題を話し合うのはとても貴重でおもしろい場になっています。職業や世代を超え、大学生と高校生、自治体、メディアが一つの目標に向かって取り組むことは大変素晴らしい。自治体からも『新たな気づきを得た』と評価も高く、地域連携で予想以上の手ごたえを感じています」と振り返る。

第3回となる今年は新型コロナウイルスの感染防止対策を講じ、インターネットなどの通信技術を取り入れ、以前から進めてきた新しい教育をさらに加速させる。佐藤副学長は「取材やコミュニケーションにオンラインを活用し、学生たちがどのように一つの提案を作り上げていくかに期待しています」と話し、ITリテラシーに富んだ実践的教育の機会になることを期待する。

メンターとして昨年、学生に同行した経済学部の石川路子教授は今年も岡山市を担当。「テーマは福祉。行政ケアのはざまにいる人たちに自分たちができる支援策を探ってもらいたい」と話す。

視野を広げて相乗効果 朝日新聞社も学生をサポート



石川 路子 教授

朝日新聞記者が加わることも、取材のノウハウや

時代の変化に合わせてさらに進化する「関西湾岸SDGsチャレンジ」。「最初は自信なさげでもプロジェクトが進むにつれ、力強い目つきに変わり、研究成果を発表するSDGsチャレンジアカデミーでは地に足の着いた解決策が聞かれます」と佐藤副学長は語る。またメンターに

教員とは違った視点を与え、学生や生徒の視野を広げていると指摘する。

石川教授は大学生と高校生が一つのチームになることで相乗効果が出ると話す。「高校生の面白い発想に大学生が自分たちの知見を加えてブラッシュアップ。立場が違っても、ともに考えることで課題解決のアイデアが広がっていきます」と高大連携の成果を実感する。

大学の「地域ハブ機能」に期待 「人格の修養」で生きる力を育てる

各地の自治体や商工会議所など20以上の団体と協定を結び連携を進める甲南大学。その拠点として2011年に立ち上げた地域連携センターも来年で10周年を迎える。佐藤副学長は「地域を学ぶ場を大学が提供することで、学生の経験領域を広げられます。これからの課題を考える時、大学での学びが相対化されて自分の知の深度を認識でき、より学ぼうとする意欲が生まれます」と強調する。石川教授は甲南大学の創立者・平生汎三郎氏の建学の言葉「人格の修養」を挙げる。「コロナ禍のもとでは、社会で生き抜く新しい力が求められています。大学は地域のハブ機能として、自治体や企業などステークホルダー(利害関係者)を結び付けることができる存在。今後も積極的な連携を促していきたい」と未来を見据える。

「学びの継続性が試されている」と工夫を凝らして「関西湾岸SDGsチャレンジ」の開催を決めた甲南大学の挑戦から目が離せない。

REPORT

岡山市 「高大連携」の殻を破る 高校生にアカデミックな刺激

岡山学芸館高校「多文化共生社会を実現するために」



地域の外国人と語学ゲームを楽しむ岡山学芸館高校の生徒たち

岡山市のチームは昨年、岡山市の多文化共生を推進するために、外国人と住民が相互理解し、尊重しあえるまちづくりの方策を探った。

岡山学芸館高校の生徒3人と甲南大学生5人は市職員から、日本語の難しさにつまずいて帰国する外国人労働者の存在を聴取。日本語のスキルアップと、文化や習慣を含めたコミュニケーションの促進につながる語学ゲーム「Language Exchange Game」を考案した。母国語を軸に、自然な会話を楽しみながら日本語が身につくユニークなスタイル。昨年9月の大学での成果発表でも注目を集め、12月には同高校生12人が地元公民館でベトナムと中国出身の住民らとの交流に活用するなど、効果を上げ始めている。

同高校の橋谷多功教諭は、「大学生の皆さんとの地域での協働は生徒たちに多面的な見方や貴重な経験を与え、想像以上の手ごたえがありました。自分たちが社会に対してできることがあると感じられたことも生徒自身の大きな力になります」と今年の活動にも期待を寄せている。

2020年のチャレンジスケジュール

コミュニケーションに新ツール 研究・調査方法の可能性を探る

「グループワーク」を10/25(日)に実施。甲南大学岡本キャンパスと各地の高校をオンラインで結び、チームを組み大学生と高校生が各自治体の課題を学び、テーマや内容を決める。「フィールドワーク」は10/26(月)~11/30(月)の間に、チームごとに調査を実施する。感染症の状況により参加人数の調整やオンライン



取材のみとする場合も。研究成果を発表する「SDGsチャレンジアカデミー」を12/20(日)に、オンラインを併用して開催。課題解決策を各自治体に向け学生たちがプレゼンテーションし、講評をもらう。また12月に開く「リサーチフェスタ」や大学のウェブサイト、SNS、朝日新聞などでも発信する。



2021年度 公募制推薦入学試験

【教科科目型】10月27日(火) 出願開始!

インターネット 出願

全学部で 実施

2段階選抜

自己推薦型 入試

自由応募の自己推薦型入試です。

出願書類・筆記試験に加え、面接を取り入れた総合型選抜入試です。甲南大学で学びたいという意欲を持っている方が広く出願できるように、自由応募・自己推薦型の入試としました。甲南大学での学びに興味をお持ちのみなさん、ぜひ出願してください。

出願期間		10月27日(火)~11月2日(月) 消印有効
第1次選考	試験日	11月14日(土)
	試験地	本学(神戸)・岡山
第2次選考	試験日	12月5日(土)・6日(日)*
	試験地	本学(神戸・西宮)

*12/6(日)はマネジメント創造学部【数学評価型】のみ

岡本キャンパス
文学部/経済学部/法学部/経営学部
理工学部/情報情報学部
飯島「岡本」駅より徒歩約10分
JR「摂津本山」駅より徒歩約12分

西宮キャンパス
マネジメント創造学部
飯島「西宮北口」駅より徒歩約3分
JR「西宮」駅より徒歩約13分

ポートアイランドキャンパス
フロンティアサイエンス学部
神戸新交通ポートアイランド線
(ポートライナー)
「京コンピュータ前」駅より徒歩約4分

甲南大学の最新情報は「甲南Ch.」でご確認ください。

甲南Ch.(チャンネル)では、各学部での学びや研究内容、オープンキャンパスなどのイベント情報、入試情報といった各種情報を発信しています。随時情報を更新していますので、最新情報の収集にご活用ください。



Check! 甲南Ch.

甲南を知って、甲南へ行こう。

甲南Ch. 検索 <https://ch.konan-u.ac.jp/>

甲南大学

お問い合わせ先

甲南大学アドミッションセンター
TEL:078-435-2319(直通)